

教育目標	○深く考えて行動する子(めあてをもち、自ら学ぶ子)    ◎思いやりのある子(心優しく、助け合う子)    ○健康で明るい子(命の大切さがわかる、たくましい子)
めざす学校像	○子供の学ぶ意欲と喜びのあふれる学校    ○いじめのない、子供が安心して通える学校    ○子供と地域社会を結ぶ学校    ○学びと体力向上の喜びを与える教師
めざす教師像	○現状把握を的確に行い子供の心に寄り添う教師    ○はじめある指導を適切に行う教師    ○誠意をもって外部対応できる教師

努力指標・成果指標の数値は4段階評定です。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標(中間)	努力指標(最終)	成果指標(中間)	成果指標(最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
知	確かな学力の育成	基礎基本の定着	習熟度指導・個別指導の充実、ICT機器の積極的な活用、学習習熟度を高めるための家庭学習の計画的な提示、学習規律の確立	3		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の授業では、習熟度指導を行っているが、計算の基礎学力の定着には課題が見られる。</li> <li>ICTを適宜活用し効果的な学習を進めているが、児童の実態と合っているか、検討する必要がある。</li> <li>学習の習熟度を高めるため、年度初めに家庭にも周知するなど家庭と連携しながら計画的に家庭学習を進めていけるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの中で数を数えたり、高さや長さを比べたり、重さを感じるような体験をあまりしていない子供が多いのではないかと。PC上で絵が動いて足し算引き算を覚えた子も多いと思う。</li> <li>ICT支援員を配置すべきではないかと。言語・数などの基礎概念の形成を優先し、ICTの活用について低学年から急がなくても良いのではないかと。</li> <li>ICT機器の活用慣れてきている。ICT機器の劣化、故障が見られ、スペアが必要である。</li> </ul>
		読解力の向上に基づく言語能力の育成	計画的な読書活動、教員による読み聞かせや一人読書と本紹介、言語能力育成を視点にした日常的な授業改善	3		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の発達段階に応じた本を自分で選択し、読むことができている児童も多く見られる。</li> <li>図書の時間に集中して読むことができている児童も見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での音読の音量も小さく感じる。音読の宿題をないがしろにしている家庭が多いことも原因ではないでしょうか。書いてあることを他人に伝えるように読むことは、反復することで上達するようになります。</li> <li>その練習を省いて活字だけ見せても、読書を好きにならないと思う。</li> <li>子供たちが楽しみ、夢中になる環境が作れるよう今後も取り組んでいきたい。</li> <li>一人一人が面白いと思える本に出会えていないことが残念である。</li> </ul>
		体験的な学習の充実	コミュニティ・スクールとして、地域の人材やボランティア、教材を活用した学習(毎学期)、体験的学習を取り入れた授業実践	4		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>九ちゃん農園や町探検、郵便局見学など、地域の方や、ボランティアの方と積極的に関わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校都合による日程変更は、ボランティアに来てくれる高齢の方々にとって、とても負担です。天候による延期は仕方ないとしても、セーフティー教室を1ヵ月近く前倒しにしたと聞きました。</li> <li>「授業の意図と進め方」について、十分に打ち合わせをし、実のある結果を残したい。</li> <li>今後も地域の接点を多くつくってきたい。</li> </ul>
徳	豊かな人間性の確立	けじめある学校生活	あいさつの励行、「九小の約束」の徹底、特別支援教育の視点に基づく指導、いじめ・不登校の未然防止、早期対応	3		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下や階段を静かに歩くことができていると考える児童が多い。</li> <li>外に出る際に走ったり、授業中、周囲の迷惑になることに気が付けず、おしゃべりしたりするため、注意している。</li> <li>挨拶をすすんで行う児童は多く見られるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年のうちに、廊下を走ってぶつかって転んで頭打って死んでしまったらどうする？ 階段を転げ落ちたらどこをケガすると思う？ といった、極端な例で問いかけることも必要なのではないかと。ルールを守ることは、児童の危機意識の向上にも直結すると思う。</li> <li>通学路での挨拶は、されたらするけど自分からはしない子がほとんどです。交通誘導の方が大きな声で挨拶してくれる児童も見かけます。上級生が見本となしてほしい。</li> </ul>
		思いやりと感謝の心の育成	児童理解のための教員研修、縦割り班活動である「九小タイム」の充実、道徳授業の授業改善、代表委員会の「いいねカード」の取組	3		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>他学年と関わるため割り活動について楽しんでいる様子である。</li> <li>児童が興味・関心をもてるような道徳の授業を心掛けているが、児童の実態からして議論する道徳授業まで達していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳を2時間連続にして、後半は学級会(学活)を開き、自分のクラスでは道徳で聞いた(読んだ・見た)ことと似たようなことが起こっていないか、自分の経験談など、子どもたち同士で話す時間を与えることはできないか、自分の気持ちや意見を言葉にできない子が、思いやりに欠けた言葉を発してしまうように感じます。</li> <li>他者への思いやりや相手を理解するために、意見を言うことや聞くことができる授業づくりが必要不可欠である。子供が自分の意見を発言できる場を増やしたい。</li> </ul>
		音楽・芸術活動の充実	音楽集会の充実、学級における音楽活動(毎月の歌)、図工作品の展示(展覧会)、日本の伝統文化を活かした活動	3		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の歌の時間や音楽集会では音楽に親しむ様子がみられる。また、図工作品の展示等を通して、表現力を高めている。</li> <li>年度当初から音楽集会で毎月の歌を歌い、計画的に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図工について 国分寺市内のポスターコンクールで、九小だけ一人も入賞していないことがありました。先生から声掛けがなかったのか、描くのが楽しい、自由に表現したいと思う子が少ないのか、作品に魅力が無かったのか不明ですが、コンクールのプリントを配るだけではなく、自分の作品を見てもらう喜びがあることを授業でも教えてほしい。</li> <li>歌や音楽を楽しむ児童が多い。様々な地域や様式の音楽に触れる機会をこれからも増やしてほしい。</li> </ul>
体	健康でたくましい心身の育成	食の教育の充実	体験的な食育の実践、栄養士・調理員との交流、「もぐもぐタイム」の実践	3		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>たけのご掘り、ブルーベリー摘みの活動を通して、食育活動を行っている。</li> <li>好き嫌いがないがはっきりして、残飯が多い時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九ちゃん農園は、まだ食育には役立っていないのでしょうか？ 好き嫌いはある程度仕方ないが、調理員さんが一生懸命作ったものなので、食わず嫌いは減らしてほしい。</li> <li>栄養士や調理員が常駐しているので充実した食育活動がなされている。</li> <li>CSの九ちゃん農園の食材を活用してもらえとうれしい。</li> </ul>
		体力増進に向けた活動の充実	運動量の確保を目指す体育学習、大縄跳び、学級での休み時間の取組、外遊びの推進	3		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>体育だけでなく、休み時間の使い方を知らせ、外で遊ぶ良さや楽しさを伝えることができ、多くの児童が外で遊ぶことができている。一方で教室に残ることが多い児童も一部いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑いから、だるいから、疲れるから、靴を履き替えるのがめんどくさいから、嫌いな子が外にいるから等、それぞれ違う理由で部屋の中で過ごしていると思うので、なぜ体力をつけるために外遊びをするのか、外に出たがらない子たちに丁寧に説明してあげることも必要ではないかと。</li> <li>鬼ごっこやドッジボールなど盛んなイメージと共に、外遊びが苦手な子供も増えていると感じている。ボールや車輪車、フラフープなど遊べる遊具も増やしてほしい。</li> </ul>
		児童の危機意識の向上	地域との連携を図る避難訓練、登下校訓練、定期的安全指導朝会・安全点検、危機回避能力の育成	4		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練は毎回、緊張感をもち、危機回避能力を高めることができた。</li> <li>引き渡し訓練を通じて、保護者とともに登下校時の安全について確認してもらおうなど、地域との連携を概ね図ることができた。</li> <li>月ごとの安全指導朝会や避難訓練を通して、児童の危機意識の向上を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引取り訓練については、都全体で職場の理解が進まないと思う。先生方は、引取り訓練の日にはわが子の引取り訓練が重なった場合、早退できるのですか？</li> <li>市のハザードマップを熟知し(教員・保護者)避難訓練等、子供の安全指導をしてほしい。ハザードマップの研修をすべき。</li> <li>登下校時、車道を歩く児童やランドセルを押しついたりして、ふざけて歩いている児童を見かける。歩き方のマナーについてもその都度、伝えていってほしい。</li> </ul>